

## 第5回

## チャレンジ!!

# ゼロカーボン



ひとりひとりができること

ゼロカーボン  
アクション30

## 節電と節水を心がけよう



市公式ウェブ  
サイト

登別市は、2050年までに温室効果ガス排出量『実質ゼロ』を目指す、『ゼロカーボンシティへの挑戦』を表明しました。

地球温暖化によるリスクを軽減し、持続可能なまちづくりを実現するため、家庭でできるゼロカーボンアクションを紹介します。

問い合わせ 環境対策グループ (☎ 011-2958)

家庭の電気消費量の約5割は待機電力と言われています。節約効果や漏電などによる事故防止にもつながるため、小まめなスイッチオフと電気製品のプラグをコンセントから抜くことを心掛けましょう。また、上下水道の使用にも、浄水、供給、下水処理などにエネルギーを消費しており、CO<sub>2</sub>排出につながっています。小まめに水を止めるなどの工夫をして使用し、無駄な水を少しでも減らしましょう。

### 少しの工夫でこんなに節約 暮らしのメリット 【出展：環境省ウェブサイト】

#### 炊飯器を使わないときはプラグを抜く

保温せずプラグを抜くと、1日7時間保温したときに比べて年間約1,500円の電気代が節約

#### 洗濯機はまとめて洗いがおすすめ

定格容量（洗濯・脱水容量：6㎏）の8割を入れて2日に1回洗濯すると、4割を入れて毎日洗う場合に比べて年間約4,920円の水道代と約190円の電気代が節約

#### シャワーの流しっぱなしは要注意

42℃のお湯を流す時間を1日1分間短縮すると、年間約1,290円の水道代と約2,590円の電気代が節約



## 私たちの

# SDGs

問い合わせ 企画調整グループ (☎ 011-222)  
～17の目標達成に向けた取り組み～

### SDGsにつながる取り組みの紹介

## 高校生によるフェアトレードコーヒーの販売

北海道登別青嶺高等学校ボランティア・広報局は、7月23日にらっぱ公園で行われた『登別ブランドまるしえ』でフェアトレードコーヒーを販売しました。

世界食料デー登別実行委員会を通じてエチオピアから仕入れたコーヒー豆から抽出したアイスコーヒーは1杯300円。合計で591杯を販売し、売り上げは同実行委員会に寄付しました。

参加した生徒は「改めて世の中には困っている人がいることを再認識できる機会になった」「自分の何気ない行動で誰かのためになれるのがうれしかった」と話しました。同広報局は、今後もフェアトレードコーヒーの販売を続け、「地域のためにできること」を考えて活動をしていきます。



◀ 今回の目標



▲ コーヒーを販売する青嶺高校の学生

フェアトレード……明らかに安く売られている生産物の裏では、発展途上国の生産者に正当な対価が支払われていなかったり、大量生産のためにたくさんの農薬が使われたりしていることがあります。フェアトレードは、そのような問題を解決するために、生産物の価格を事前に適正な額に設定し、公平な関係性の下で生産物を輸入することです。